



窪高生徒会新聞

第 42 号 生徒会新聞は窪高のホームページでもご覧になれます。

平成 29 年 12 月 12 日
発行：窪川高校生徒会
校長：森本 民之助

2年に一度の文化発表会開催！

生徒会文化委員長 三宮 萌佳

本校では文化祭と文化発表会が毎年交互で行われており、今年度は11月24日(金)に文化発表会が行われました。ステージ部門では音楽部の演奏、音楽選択生による合唱、合奏、各クラスによるダンス、漫才、ムービーなどの発表がありました。私が特に印象に残っているのは2年1Hの漫才です。息の合った漫才を披露してくれて、見ていて楽しくて凄く面白かったです。会場全体が笑顔で包まれたと思います。

展示部門は、農業選択生、美術選択生、国語科、家庭科からのたくさんの作品が出されました。どの作品も日々の積み重ねが形となっている素晴らしい作品でした。窪川高校の底力を感じて良かったです。保護者の皆様には、平日ながらご来校いただき、ありがとうございました。



花の展示

茶華道部部长 西森 愛朱加

茶華道部は、去年と比べ部員の数が多くなり、展示する花の数も増えて会議室をより華やかにすることができました。前日に茶華道部員全員と顧問の先生方と楽しくお花を生け、協力して準備ができたので良かったです。私にとってこの展示が最後になりました。3年間、華道をしてきて様々な経験をすることができました。これからもこの活動を続けていってほしいと思います。



浴衣と甚平

食物手芸部部长 辻 桃世

食物手芸部は、浴衣と甚平を展示しました。甚平は、昨年作ったもので、浴衣1つだけだとかなしいので甚平と一緒に飾りました。浴衣は甚平より難しかったので、いろいろと苦戦しました。例えば、ミシンで縫うときに近くの布を巻き込んだり、肩の部分を縫うときも思った通りに縫えなかったりしました。1学期の半ばから作り始めて、なかなか先生と時間が合うときがなかったけれど、無事に文化発表会へ間に合わせることができてよかったです。

縫い終わったときは、やっと終わったという解放感と同時に達成感も一緒に味わいました。来年は、文化祭なので今年より多くの作品を作っているいろいろな人に見てもらえるように頑張りたいです。



新たな活動

美術部部长 瀬戸 明日見

私たち美術部は文化発表会に向けて、4月からこつこつと取り組んできました。今年はイラストだけでなく粘土やレジンアクセサリーなどの作品を展示しました。特にレジンアクセサリーは約80個とたくさん展示することができました。粘土の作品も一つひとつ丁寧に時間をかけて作りました。

また、シールを作って展示会場で無料配布するという新しい取り組みもしました。作品の片づけをするときにはほとんどなくなっていて、頑張ったかいがあったと思いました。来年の文化祭ではこの経験を活かし、展示だけでなく様々なことにチャレンジしてほしいと思います。